

## 献呈の辞

伊藤高義先生は、本年3月末をもって、南山大学をご定年により退職されることとなりました。先生は、1941年に愛知県でお生まれになり、1963年に名古屋大学法学部をご卒業後、名古屋大学法学部助手、滋賀大学経済学部の講師、助教授、名古屋大学法学部の助教授、教授、そして同大学大学院法学研究科教授を歴任され、2004年に定年退官により名古屋大学名誉教授とされました。そして同年、本学に赴任され、研究と教育に尽力されました。

先生は、本学に着任される以前から、長年にわたり民法学の分野で優れた業績をあげられた著名な研究者でした。とくに物権法と不法行為法の専門領域では、学界に顕著な功績を残され、大きな影響力をもたれました。また社会的にも公害、環境そして交通事故に関する愛知県の審議会等で委員として貢献されてきたことも、よく知られているところであります。このような学問的、社会的貢献は、本学にお出でになられた後も変わることなく続けられました。

先生の深い精緻な学問にじかに触れることができたことを、われわれ同僚は幸せに感じておりました。そればかりか、教育への熱意や学生への愛情においても、また学内運営への誠実な姿勢においても、同僚として、ただ深い尊敬と感謝の念を抱くばかりでした。先生が本学に在職された5年間は、法科大学院発足の直後であり、これから新しい気持ちで法学部を築いていこうとする時期でした。先生にもっと教えていただきたい思いのわれわれには短い期間でしたが、先生と過ごしたこの年月を、われわれは決して忘れません。願わくば今後も引続き、近くよりご指導くださいますようお願いいたします。

この南山法学の号を献呈させていただくにあたり，先生がこれまで本学にお与えくださった恩恵に心から感謝の気持ちを表しつつ，先生の今後のご健康と相変わらぬご活躍をお祈り申し上げます。

2009 年 3 月 31 日

南山大学法学会会長 岡 田 泉